



母の生霊を自分の体へ戻らせようと奮闘するきょうだいたち

市内で活動する劇団「ふるさと発信株式会社」の第12回公演「蠅取り紙く山田家の五人兄妹」は12月6日、安代小学校体育館で行われました。安代地区芸術文化祭の参加作品でもある今回の演目は「家族の思い」がテーマ。旅先での急な手術により意識不明となったはずの母が、生霊となって家に帰ってきてしまい、

混乱する子どもたちは、どうかして母を旅先へ戻らせようとする物語。この山田家に起こった不思議な出来事をきっかけに、きょうだいたちが、家族と自分たちを見つめ直し、新たな一步を踏み出していく、心温まるホームコメディです。団員たちは、ときにコミカルに、ときに感動的にこの一家に起こったドラマを演じていました。

同劇団は、平成11年に旧安代町の有志で結成。毎年12月に定期公演を開催しています。

劇団ふる株公演 会場を包み込む 笑い感動の輪

12/6

初めて参加したという高橋勝子さん（松尾寄木）は「踊りが大好きで、子どものころからバレエをやつてみたいと思つていた。今日は友達に誘われて、念願のバレエに挑戦することができた。やつてみてすごく楽しい」と笑顔で汗をぬぐっていました。

バレエエクササイズで しなやかな体をつくる



正しい姿勢でのエクササイズに取り組む参加者

田頭公民館講座「バレエエクササイズ」は11月27日、同公民館で行われました。バレエを通して、正しい姿勢でのストレッチを行い、無理なく体の柔軟性を高め、けがの予防などにつながるよう開催しているもので、今回で3回目です。

11/27

紙ひもで作るマイかご エコクラフト講座開催

松尾地区公民館講座「エコクラフト講座・かご作り」は11月25日、松尾ふれあい文化伝承館で行われました。

市内で活動する手芸サークル「星の会」代表の田村晴代さん（松尾）を講師に迎え、参加者10人が、紙ひもを編んでかご作りに挑戦。紙ひもの太さや色を使い分け、オリジナルのかごを作りました。

初挑戦の参加者ばかりでしたが、講師の説明を聞きながら、丁寧に紙ひもを編んでいきました。参加者は「形になっていくのが楽しい」、「コツをつかむまでが難しい」とかご作りに熱中していました。



真剣な表情で紙ひもを編んでいく参加者

11/25



劇団「ふるさと発信株式会社」第12回公演
(12月6日、安代小学校体育館)



ふるさとCM大賞 in JWA T E 審査会
(12月6日、アイーナ)



八幡平山びどうワインパーティー
(11月20日、デトトラック安代)

すなっぶギャラリー